

第3回

クリーンアップキャラバン in 三浦海岸 開催レポート

2008.11.23(SUN)

写真：宮田幸司 Photo by K.Miyata 文：編集部 Text by everblue

ウインドサーファーの協力が光ったビーチクリーン

今回で3回目となるスバル×everblueによるビーチクリーン。辻堂海岸、御前崎海岸に続き、暖かな小春日和となった三浦海岸での開催となった。everblue読者、地元住民だけでなく、ウインドサーフィン大会であるビザラ・クアアイナカップの大会参加者も協力し、約180名が参加した。

ビーチクリーンがスタートすると、参加者は砂浜いっぱい広がるウインドサーフィングの合間を縫って、ゴミを拾っていった。一見するだけでは白い砂浜が目立つきれいなビーチのようだったが、集まり始めたゴミを見ると、ちょっと見回しただけでは発見できなかったゴミがたくさん出てきていた。

ビーチクリーン終了後の参加者の晴れ晴れとした

表情からは、きれいなビーチが人の心までもクリーンにしていることが読み取れた。環境が少しずつよくなれば、人々の心も少しずつ変わっていくことを実感させてくれた。

スバルの鈴木氏からは「みなさんがクルマで出かけた先々で気持ちのいい思い出をつくっていただけるように、ビーチクリーンをはじめとしたさまざまな活動を続けていきたい」とコメント。

スバルのエコ活動は、スバルエコサイト「SUBARU ECOLOGY for Fantastic Moments」で見ることができる。プログパーツの配布など、さまざまな参加型コンテンツも提供しているので、こちらにもアクセスしてみよう。



会場入口では、スバルのSUV、フォレスターがお出迎え。ウインドサーフィンのボードも搭載できる収納力がウインドサーファーたちの視線をくぎづけにした



参加者にはオリジナルエコバッグとミニカーがプレゼントされました!

今回のプレゼントは、かわいらしいフォレスターミニカーと、実用性の高いオリジナルエコバッグ。エコには遊び心とエコアイテムが不可欠だ

スバルエコサイトはこちら!

www.subaru.jp/ecology



1 笑顔でのビーチクリーン。初冬だが参加者の気持ちが暖かい。2 ビザラ・クアアイナカップのひとコマ。3 力を合わせれば、ゴミはこんなにたくさん集められる。4 今回のビーチクリーンでは、多くのウインドサーファーの協力が光った



スバルの鈴木氏からのあいさつ。「さまざまなエコ活動に取り組んでいるスバルにご声援をお願いします」

